

データベース演習		講義	教授 樽井 勇之
科目カテゴリー	経営・経済コースの専門選択科目	科目ナンバリング	23002208

1. 授業のねらい・概要

データベースとは、大量の情報を整理してコンピュータ上に蓄積し、その情報をすばやく検索・抽出するためのツールである。現在のビジネス活動は、情報の源泉であるデータベースがなくては競争優位を獲得することはできない。この授業では、パソコンユーザ向けのデータベースソフトとして最も普及している Microsoft の Access を用いて、リレーショナル（関係）データベースの仕組み、データベースの構築方法、および、操作方法を修得することをねらいとする。

2. 授業の進め方

コンピュータによる演習を中心に行う。

3. 授業計画

1. ガイダンス	9. フォームの作成 1
2. データベースの基礎知識	10. フォームの作成 2
3. Access の基礎知識	11. クエリによるデータの抽出
4. データベースの設計と作成	12. レポートの作成 1
5. テーブルの作成 1	13. レポートの作成 2
6. テーブルの作成 2	14. 便利な機能
7. リレーションシップの作成	15. まとめ
8. クエリによるデータの加工	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

前回までに構築したデータベースの見直しとテーブル構造を理解しておくこと（1 時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題を出題後にデータベース作成のヒントを与え、授業時間終了前に模範解答を説明する。

6. 授業における学修の到達目標

データベースの仕組みを理解した上で、データベースへの問い合わせやデータ利用ができることを目的とする。

7. 成績評価の方法・基準

課題の成果物（60%）、定期試験の結果（40%）によって評価する。

8. テキスト・参考文献

テキスト：「よくわかる Microsoft Access 2016 基礎」、FOM 出版

9. 受講上の留意事項

この科目は一度休んでしまうとわからなくなってしまう。従って、授業には休まず出席すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。